

次の事項について2025年度予算に組み入れられるよう要求いたします。

日本共産党入善町委員会

委員長 松田俊弘

(●は新規、※は一部変更のものです。)

◎総務課に関すること

災害対策について

- 1、●災害対応に被災自治体が当たるのは困難だ。欧米諸国では大規模災害に備え政府に災害専門省庁を設置している。日本でも国主導で災害対策に当たる省庁を設置するよう求められたい。
- 2、●避難所用の段ボール間仕切りは壊れやすく設置に人手と時間がかかるので、素早く設置できるテントや間仕切りを備蓄されたい。
- 3、●激甚災害で電気や水道、下水道施設などのインフラが破壊された時に備え、国、県の財政支援を受け発電機やトイレカーを配備し、被災地に運び込めるようにされたい。
- 4、●福井県は能登半島地震を機に、住宅の耐震化への補助額を120万円から150万円に引き上げた。富山県も補助額を引き上げるように求められたい。
- 5、●日本海地震・津波調査プロジェクトで行われた新潟ー北陸沖地殻構造探査の結果、黒部川河口付近での活断層の存在が明らかにされた。同断層の詳細な調査研究を早期に進めるよう、国に求められたい。
- 6、●魚津断層帯を震源とする地震及び、魚津沖断層と上越沖断層帯、糸魚川沖の断層が連動する地震・津波による人的被害及び住宅被害の想定を県の支援を受け明らかにされたい。
- 7、●線状降水帯が各地で猛威を振るっている。気象庁は線状降水帯について発生予想の半日前の公表を目指すとしており、この対応も防災計画に入れられたい。
- 8、具体的な防火水槽整備計画を作成し、土地は町が購入して計画的整備を図られたい。
- 9、津波対策に地域ごとに避難ルートや避難所での手順を確認するなど、実践的な避難訓練を計画的に実施されたい。

職員について

- 1、建設課で技術職員が不足しており、積極的にPRし増員されたい。
- 2、保育士の正規職員比率を引き上げられたい。
- 3、●会計年度任用職員に支給する期末・勤勉手当の支給要件を国の基準に従い、就業時間を週15.5時間以上とされたい。

◎財政課に関すること

- 1、生活道路の改修などの住民要望に応える予算をしっかりと確保されたい。
- 2、大型事業の集中は避け、公債費が増大しないよう計画的に実施されたい。
- 3、物価高騰対策で、ひとり親世帯や高齢者世帯などの生活弱者に継続して支援されたい。

◎税務課に関すること

- 1、 国保税の滞納者の実情をよく把握し、資格証明書及び短期保険証などの発行はやめられたい。
生活困窮者には、健康福祉課と連携を取りながら生活支援に当たられたい。

◎保険福祉課に関すること

- 1、 高齢者・障害者福祉について
 - ① ユニット型や地域密着型では、利用料が高額で国民年金受給者は入居できない。国民年金受給者でも入所できる介護施設を新設、増設するよう国、県に働きかけられたい。
 - ② ※町内では職員不足からショートステイの受け入れが極端に減少し利用が困難になっている。介護職員の処遇改善に、家賃補助や夜勤手当への支援等、恒常的な支援を行われたい。また、職員の大幅な処遇改善を国に強く働きかけ、町としても支援されたい。
 - ③ ユニット型改修や新規建設時のみならず、介護施設の改修や送迎車の購入になどに支援をされたい。
 - ④ 加齢による難聴者の補聴器購入に支援されたい。また、国に補助制度を設けるよう働きかけられたい。
 - ⑤ 国民年金受給者や生活困窮者、ひとり親世帯の灯油購入に支援されたい。
 - ⑥ 成年後見人支援センターが開設されたが、実情に応じて支援ができるように体制を整えられたい。
 - ⑦ ●今年 4 月から県内全市町村で S O S ネットワーク損害賠償保険が導入され、10 月から本人確認も全市町村で Q R コードで行うようになった。同損害賠償保険は市町村別でなく県内で一元化し、それにかかる費用は県と市町村が折半するよう県に働きかけられたい。
- 2、 国民健康保険について
 - ①国民健康保険への国庫負担率を 45%に戻すよう国に要求されたい。
 - ②都道府県一本化で、町民の負担が増えないようにされたい。
 - ③国民健康保険税の子どもの均等割は少子化対策に逆行する。均等割の廃止を国に働きかけられたい。

◎結婚子育て応援課に関すること

- 1、 放課後児童クラブについて
 - ①40 人以上の放課後児童クラブは、実態に合わせて分けられたい。
 - ②指導員を増やすために幅広く P R し、町の責任で確保されたい。
 - ③運営を地域任せにせず、現場の実態把握や指導員の相談に乗るなどして質の向上に努められたい。
 - ④学童保育は教育委員会の所管にされたい。
 - ⑤町の責任で指導員を確保し、夏休みなど長期の休みの開所時間を保育所と同様に午前 7 時からにされたい。

◎がんばる農政課に関すること

- 1、●今年の夏に米不足が社会問題になったが、その要因の根本には行き過ぎた減反政策と生産農家の減少がある。日本の主食であるコメの安定した供給のために、農家への価格保証と所得補償を行うよう政府に働きかけること。また、コメ不足が発生した場合はいち早く政府備蓄米を放出するよう働きかけられたい。
- 2、農業機械等の更新にも支援をされたい。
- 3、米の品質向上のために鶏糞散布などの地力増強に支援を強化されたい。
- 4、高騰する肥料や飼料代、燃料費に対し継続的に農家を支援されたい。

◎キラキラ商工観光課について

- 1、物価高で厳しい経営を迫られている中小零細業者を継続的に支援されたい。
- 2、舟見地区の枅型や七夕祭りは歴史的、文化的遺産である。枅形を残し、七夕祭りへの支援を強化されたい。
- 3、町の公共交通について
 - ①要介護認定者とその同伴者の運賃も割引の対象とされたい。
 - ②デマンドタクシーで隣の市町の総合病院に行けるようにされたい。
 - ③デマンドタクシーは午前中だけでも台数を増やし、午前に予約が取れるよう改善されたい。
 - ④●スーパーと病院を回れるバスを運行されたい。
- 4、並行在来線について
 - ①入善駅にエレベーターを設置されたい。
 - ②西入善駅のトイレに車いすでも入れるよう、あいの風とやま鉄道に強く求められたい。
- 5、高瀬の湧水の庭にトイレを設置されたい。
- 6、●国や県と協力して漁獲量が回復できるよう藻場造成を図られたい。
- 7、プレミアム付き商品券を継続的に発行されたい。
- 8、高騰する燃料費に対し、継続的に漁業者を支援されたい。

◎建設課に関すること

1. 通学路である横山櫛山新線に、町の負担割合を増やし消雪装置を設置されたい。
2. 県道北羽生入善線の櫛山消防分団から東側の拡幅では、必要ならば土地を購入してでも促進するよう働きかけられたい。
3. 町道藤原・春日線は、海岸の工事の際に大型ダンプなどが通り危険である。早期に拡幅されたい。
4. 春日地内の農道（松田勉宅付近）の法面が崩れアスファルトが痛んでいるので、早急に改修されたい。
5. 小摺戸地内の国友雄一方から小路陽一方の路肩が両側とも崩れており危険だ。車がすれちがう時（農耕車もよく通る）は特に危険であり、早期に改修されたい。
6. ●古黒部地内の旧県道の入川にかかる橋に安全策を設置されたい。（橋の東側に人が歩けるような側溝が整備されたが、末端が入川につながっており人が転落する危険がある。）
7. 春日の離岸堤の一部が老朽化しているので改修を求められたい。
8. おあしす新川前の町道に、同施設の前まで消雪装置を設置されたい。
9. 県道小摺戸芦崎線の報徳・園家地内で消雪装置が未設置なので設置するよう県に求められたい。
10. 県道13号朝日宇奈月線の舟見1区、徳光商店近くで住民や小学生が横断するが、S字カーブで見通しが悪く危険である。「横断注意」などの車の運転手に注意を喚起するような道路標示の

設置を働きかけられたい。

11. 町が除雪業者に支払う平均的な機械稼働費の時間単価は、昼が2万円、夜間は2万5千円ほどだが、黒部市では昼は2万7千円、夜間は3万3千円程度と大きな開きがある。町の単価を黒部市並みに引き上げられたい。
12. 農免道路の県道小摺戸芦崎線の交差点から西入善駅前道路までの舗装のやり直しを早期に実施されたい。
13. 海岸防災林のマツクイムシ被害対策について
 - ① 伐倒処理はカミキリムシが飛散する前に4月中に実施できるよう、今年度中に予算措置をし、繰越事業として取り組まれたい。
 - ② 必要に応じ随時伐倒処理できるように、補正予算を組むなど柔軟に対応されたい。
 - ③ 保安林機能を維持するために、引き続き伐倒処理した所に補植されたい。
 - ④ ●報徳のマレットゴルフ場に樹幹注入などで感染が広がらないようにされたい。
14. 黒部川ダム排砂・通砂について
 - ① 一昨年の連携排砂は少雨で中止となり、作年度排砂で2年分の土砂が排出された。その後は雨が極端に少なく渇水状態が続いた。近年の異常気象で将来こうしたことも繰り返されかねない。排砂実施期間を6月から8月に限定するのではなく、年間を通し一定の出水のたびに排砂を実施できるよう関係者での合意形成に努められたい。
 - ② かつての黒部川の出水での濁りは3日から1週間でおさまった。川が濁るのは細かなものが流れているからである。現在のように排砂時の自然流下を12時間程度で終えていたのでは、細かなものをダム湖にため込んでしまう。自然流下は濁りがおさまるまで、1週間程度（少なくとも3日）続けるよう関係機関に働きかけられたい。
 - ③ ●黒部川河道の至る所に土砂が堆積しており、防災及び環境面で住民が不安を感じている。実態に応じて対応するよう国に求めること。

◎水道課に関すること

- 1、下水道使用料の大幅な値上げは、住民が納得できるものではない。一般会計からの繰り入れを増やすなど、住民の負担増とならないようにされたい。
- 2、●1人世帯2人世帯に高すぎる下水道使用料の料金設定を見直しされたい。
- 3、宇奈月ダムの建設について県は、将来にわたって町には負担をかけない同意を求めたのだから、町は今後も一切、建設費や維持管理費を負担すべきではない。

◎住まいまちづくり課に関すること

- 1、●改めて空き家の調査を行い、実態に即した対策を図られたい。

◎教育委員会に関すること

- 1、高校生の奨学金の額を増額し対象枠を広げられたい。
- 2、小・中学校に専任の司書を配置するように努められたい。
- 3、教育の充実のために、20人学級の早期実現を国に働きかけられたい。また、少人数学級の拡大のために教員の加配を県に強く働きかけられたい。
- 4、発達しょうがいのある子どもの就学や進学、就業まで、切れ目なく支援できる体制を検討されたい。
- 5、小中学校へのスクールカウンセラー派遣時間を大幅に増やすよう県に求めると同時に、町独自にも採用されたい。

6、町民会館を障害者や高齢者等にやさしい施設にするために

①2 階へあがるエレベーターを設置されたい。

②障害者用の入口を整備されたい。

7、杉沢の継続的な整備のために専門家も含めた整備検討委員会を再組織し進められたい。そのための財政及び技術的支援を国に求められたい。

8、舟見の本陣跡地に残っているとされる武者溜りを、専門家により調査されたい。

9、学童保育は教育委員会の所管とされたい。(再掲)

10、準要保護者への就学援助の入学準備金支給の認定では、該当児童の年齢を 6 歳児として計算されたい。

◎元気わくわく健康課に関すること

1、●帯状疱疹ワクチン接種に補助をされたい。